

座学「実技の振り返り・フットボールの発展史4」

一年間に渡って学習してきたフラッグフットボールの実技が前回で終わりました。フラッグフットボールという教材はいかがでしたか？これでもう29回も皆さんと授業を行ってきました。全く知らないフラッグフットボールについて学習を進め、今では、自分たちでゲームを行えるようになってきました。

初めての授業の時に話した事ですが、フラッグフットボールは、誰もが活躍できるようにアメフトを教材化されたものです。技能の差はあっても作戦次第で自陣を進めたり、タッチダウンしたりできるし、守りではタオルを取ることでいいので、誰もが活躍できるゲームです。今では小中学校の体育教材にも取り入れられており、年齢を問わず行えるゲームだということが分かったことでしょう。

後期に入って、皆さんの作戦もより複雑になりました。しかし、欠席者が増えて、せっかく作った5人の作戦がなかなか実行できなかつたり、出席者がチームでたったの1人という日もあつたりしました。しかし、前回の実技最後の日は、受講生29人全員が出席して、自分達で楽しくゲームが出来たことだと思います。本当に良かったです。

さて、授業としては本日が最後になります。まず、最後にどのような作戦が有効だったのかを全体で確かめます。また、「フットボールの発展史4」の話を行います。

(1)作戦のまとめ 有効な作戦の全体交流

- ①第2節で使った作戦を、グループノートからまとめます。
- ②黒板に成功率を記入。(一次リーグの時と同じ)

前の黒板にそれぞれのグループの10個の作戦の成功率を集計します。

- ③グループで一番成功率が高かった作戦の説明をします。  
各グループの代表が前で説明。  
作戦カードを書画カメラで映し出します。  
他の人が聞いても分かる説明を。

(2)学校の話

最後ですので、教育現場の話聞いて下さい。  
このような場合はどうするのか？何が問題だったのかを考えてください。

(3)コミュニケーション HowTo フラフト「マッキーノ」

教育現場で使えるゲームの紹介。次回のテストの勉強にもなります。  
これまでの座学で学習してきたキーワードをマスに入れて、ビンゴゲームを行います。

(4)「フットボールの発展史④」—サッカーとラグビーの分かれ目—

今回の話は、フットボール協会が出来て、サッカーとラグビーに分かれて行く時代の話です。なぜ、サッカーとラグビーは袂を分かったのか、同じフットボールなのに、どうしてゴールの形が違うのかについて考えてください。(次回のテストの範囲でもあります。)

(5)「フラッグフットボールの授業を終えて」

これまでの授業を振り返ってのレポートを書いてもらいます。

